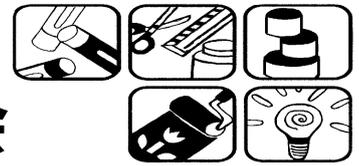




夏季実技研修会



2022年3月

第73回 造形美術体験ワークショップに向けて

夏季実技研修部

【72回まとめ】

第72回の今年度は、桂小学校を会場に、低・中・高の研修コース、視聴覚研と図工のコラボコース、横浜美術館の鑑賞コース（Zoom）の計6コースで開催されました。研修コースは低中高ともに、日文の教科書題材から題材を設定し、低学年は「立体・工作」「絵に表す」、中学年は「工作」「絵に表す」、高学年は「鑑賞」「立体に表す」の内容の活動が行われました。講師は研修部のリーダーの先生方が念入りな準備のもと、当日もわかりやすく、すぐに実践に生かせる研修をしてくださいました。掲示物等も、とても参考になるものばかりでした。また、市の視聴覚研とのコラボで行われた「プログラミングコース」は、図工の題材の中でタブレットを取り入れてできる可能性を広げる講習内容でした。横浜美術館の鑑賞コースは Zoom での開催で、身の回りのものに目を向けた鑑賞活動でした。両日ともに募集定員に達する講座も多くあり、先生方の関心の高さが伺われました。夏休みの水泳がなかったのも参加しやすかった要因です。

総参加人数は、372名。初めて参加される方が全体の50%、2回目22%、3回目以上28%でした。また、参加理由としては、今後の授業に向けて、技術向上を目的にした傾向が大半でした。受講生のアンケートからは「実技を通して子どもの気持ちが変わった」「声かけや指導の仕方が変わった」などの声が多く、同時に「楽しかった」「褒められるとうれしい」との声も多くありました。「来年も参加したい」は96%でした。また、開催当日にも開催に感謝の言葉を直接かけてくださる受講生も多くいました。

コロナ禍での開催に向けて、世話人校長先生のお力添えのもと、運営スタッフが力を合わせて準備を進めました。受講募集人数の縮小、午前午後入れ替え制の半日開催、教室の分散、消毒の徹底等、例年とはまったく違う状況の中でしたが、当日は講師の先生方やスタッフの先生方がチームとなって、今年度も無事に研修会を終えることができました。改めて図工研のチーム力の素晴らしさを感じられる研修会だったと思います。そして、今年のような状況でも、やれる方法を考え、開催できたことは本当に価値のあることだったと実感しています。前日準備からの3日間、たくさんのスタッフのご協力のもと盛大な研修会になりましたことを心より感謝申し上げます。来年度は状況が好転することを願うとともに、今年度の受講生の要望やスタッフの方々の反省点をしっかり反映して、さらに活気溢れる研修会をつくっていかれたらと考えています。

<参加者数>

コース名	27日		28日	
	AM	PM	AM	PM
低学年コース	29	28	28	25
中学年コース	23	28	26	22
高学年コース	12	12	25	17
プログラミングコース	16	18	19	19
美術館鑑賞コース				25

【2日観参加人数 372名】



来年度の方向性

<開催日> (予定)

研修コース 7月26日(火)～27日(水) 前日準備 7月25日(月)
子どものアトリエコース 横浜美術館コースについては現段階では未定です。

<会場> (予定)

横浜市立桂小学校

(市研で貸し出す材については、下末吉小学校で保管・貸出対応中だが、今後は要検討)

<コース・内容について>

- ・研修コース ※来年度の研究部の先生方と検討する。
- ・プログラミングコース 情報研の先生方に協力していただく。
- ・子どものアトリエコース・横浜美術館コース(未定)

<その他>

- ・今年度はコロナ対策をしておの実施で例年とは大きく異なる点が多かったが、現段階では来年度も今年度を引き継いだ形で行う方向。コロナの状況によっても対応が変わることが考えられるので、柔軟に対応していく。
- ・午前午後完全入れ替え制について、アンケートで参加しやすかったとの声が多かった。
(午前午後で講習を選べる・半日だと参加しやすい等) 来年度も継続の方向で考えていく。
- ・申し込みの段階で詳しい講習内容が知りたいとの声が多く挙がっている。
→ 来年度は新体制が決まり次第、研究部の先生に依頼して募集の段階で題材も載せられるようにしていく。
- ・「受講のしおり」の周知の課題について
今年度は市の図工研のHPにも記載をしたり、区研でのアナウンスをお願いしたりして改善を試みたが、やはり今年度も課題として挙がっている。
<アンケートより>
 - ・持ち物を知らなかった
 - ・しおりを個人あてに送ってほしい
 - ・しおりの存在が分かりづらい 等→ 皆様のご意見もいただきながら、さらに改善をしていければと考えている。
- ・スタッフTシャツがなくて寂しいとお声を頂いたので、来年度は作る方向で。

今年度改善してよかった点も踏まえて、反省点を考慮しながら第73回はさらに良い研修会になるようにしていきます。来年度もどうぞよろしくお願い致します。